

第60回近代五種全日本選手権大会



男子個人 2等陸曹

嶋野

光

優勝

2年ぶり3回目

逆転優勝

令和2年11月27日から29日の間、栃木県において第60回近代五種全日本選手権大会が開催された。自衛隊体育学校近代五種班からは三口智也2等陸尉以下男子8名、女子6名が出場し、男子は嶋野光2等陸曹が、女子は島津玲奈3等陸曹がともに2年ぶり3度目の優勝を果たした。



激走後の射撃をも冷静に実施する嶋野2曹

佐藤大宗3等海曹は水泳を9位、フェンシングを2位に付け、総合2位で馬術競技に挑んだが、馬術競技で障害落下による減点を受けて12位となり、総合6位でレーザーランを迎えた。レーザーランではトップから30秒後にスタートを切った佐藤3曹、持ち前の走力で上位選手を次々に追い抜き見事第2位でゴールした。

初の表彰台へ

大西渚生3等陸曹は水泳を3位、フェンシングを7位、馬術競技を満点で終える好発進を見せ、総合2位でレーザーランに挑んだ。トップ選手から18秒後にスタートを切った大西3曹は先輩2人の激走に負けじと最後まで粘り強く走り切り、佐藤3曹のゴールからわずか2秒後に第3位でゴールし、自身初の表彰台を決めた。



着々と力をつける大西3曹

大会初日である27日は男子の3種目（水泳・フェンシング・馬術）が行われた。嶋野2曹は水泳を11位、フェンシングを6位で終え、2種目での総合順位を7位と遅れをとった。しかし初日最後の種目である馬術競技では減点なしの300点満点を獲得し、総合順位を5位に浮上させ、翌々日に控えたレーザーランへと繋げた。

大会最終日に行われたレーザーランは、3種目の総合順位が1位の選手からスタートする。嶋野2曹はトップから25秒後にスタートを切り、猛追を見せた。

レーザーランでは、レーザー銃を使った射撃（10m離れた直径約6cmの的に5発命中させる）を4回実施する。射撃の直後に800m走り、走ってはまた撃つを繰り返す。総距離は3.2km、トップでゴールした選手が優勝となる。

嶋野2曹はこの過酷な競技で11分8秒と全体のトップタイムを叩き出し、見事1位でゴール。逆転優勝を果たした。

力走で2位浮上



6番出走から猛追を見せる佐藤3曹

